

2024年度 学校関係者評価委員会報告書  
および改善方策

学校法人 東京滋慶学園  
ベルエポック美容専門学校

2024年4月16日

## 2024年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録

作成者：ベルエポック美容専門学校 村田

日時：2024年4月16日（火曜日）10:00～

場所：ベルエポック美容専門学校 第3校舎教室

参加者：＜学校関係者評価委員＞

森 章 様：高等学校関係者 拓殖大学光陵高校 学校長  
萩原 千春 様：保護者代表  
小泉 由梨 様：地域代表 穂伝表参道町会 会長  
今西 香織 様：卒業生代表 プライベートサロン **La fraise**(ラフリーズ)  
藤井 祐斗 様：業界関係者 SHIMA 専務取締役  
古橋 龍明 様：業界関係者 アウラ代表理事  
永井 良幸 様：業界関係者 TBC グループ株式会社人事総務部 採用課 係長

＜事務局メンバー＞

中村 道雄 : 学校法人東京滋慶学園 理事長  
大谷 啓一 : ベルエポック美容専門学校 学校長  
三井 真衣子 : 滋慶学園グループ 運営本部長  
鈴木 絵理 : ベルエポック美容専門学校 事務局長  
菊地 慶 : ベルエポック美容専門学校 教務部長  
内田 麻奈美 : ベルエポック美容専門学校 事務部長兼広報センター長  
今井 香菜子 : ベルエポック美容専門学校 美容師科学科長  
岩本 賢矢 : ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科学科長  
阿部 和彦 : ベルエポック美容専門学校 トータルビューティ科 学科長  
高橋 理 : ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター センター長  
遠藤 直美 : ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター センター長  
村田 和子 : ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター (書記)

### 1 教育理念・目的・育成人材像

また理念、経営者の言葉、学校の考え方や組織文化を、組織内に浸透させるとともに、新たに組織に入ってくる人にも外部にもわかりやすく示していくことによりかなりの力を注いでいる。このことが、学園、学校の活性化につながっていると考える。

職員に対して、これまで以上に理念等の浸透には注力する必要がある、また学生にも同様に伝えていく必要がある。

今後さらに学生保護者、業界、地域、高校の4つの信頼の信頼を得られるよう、学内外での活発な活動を行う。

(委員のご意見)

学校のミッションと理念をベースにした事業計画の立案と中期計画を通じて、学校の未来を明確に描き、組織目的や運営方針を実行に移してきたことが、学校の成長に繋がってきたことが理解できた。職員・学生への理念の共有・伝達はもちろんのこと、今後も学生保護者、業界、地域、高校とのコミュニケーションを活発に行い、より一層学校の価値を高めてほしい。

日々変化する社会情勢と業界のニュース、そして高校生の進路選択の多様化と子育てをする保護者の意識の変化の中での学校運営は困難が多いと推察いたします。それでも学校運営にあたり、中長期の事業計画をたて、建学の理念にそった教育がなされています。

変化の多い美容業界ではあるが、基礎を大事にしつつ各学科において「今」を取り入れる授業内容をしていると感じた。技術だけでなく卒業後社会に出た時の人間性を学べる学校だと感じる。

今後、業界としても協力出来る事があれば積極的に協力していきたい。教育方針なども常に時代に合わせてアップデート出来れば良いと思う。

教育の構成要素においては確実にステップアップされていると感じる。更なるアップデートを期待する。

## 2 学校運営

事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。理念、方針の浸透を深めるため、各種の研修（教職員・講師）、会議（運営会議・学科会議・課別会議等）で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するよう努める。

（委員のご意見）

全体的に計画的、かつ組織的に決定されている。時代の変化に応じた学校運営が求められる中で、柔軟な取り組みとより多くの関係者の意見が集約されるようなシステム作りが重要になると思われる。

学校の運営方針や事業計画は法人理事会そして評議会で十分に審議されています。また各学校の評価も考慮しながらさらに対応を考えている組織運営がなされていることは高く評価できます。また目標の設定も単なる数値目標ばかりでなく、情意効果も評価するなど現場サイドを見据えた目標と評価がなされています。現在の学校教育では評議会の機能重視ですからさらに評議会の重要性を表に出すことを期待します。

経歴の浅い職員も、自身の視点で意見を出しより良い環境にして頂きたい。

学校運営については、細部にわたり立案から実施に至るまで行われている。情報共有、運営に優れていると感じる。

## 3 教育活動

教育指導要領に基づき、学園の教育理念に沿った教育を実施している。

教育課程編成委員会のご意見を基に毎年カリキュラム更新も行っている。養成目的・教育目標を明確にした人材育成を行っている。

今後はキャリア教育やクラス形成に力を入れて、目的意識喪失による退学防止などにも反映し

ていきたい。職業観の植え付けが重要である。成績評価・単位認定については、教育指導要領と学生便覧に明記している。

それらに基づき、評価・認定を行っている。また実技授業などの評価に関しては、点数配分を可視化や、ルーブリック評価を用いる等で明確化に努めている。

(委員のご意見)

教育指導要領に基づき、長期的な視点に立った教育活動が行われている。資格取得に関しては現代の学生に合わせた指導体制の強化とフォローアップに期待し、全員現役合格の目標を達成してほしい。

学校法人としての事業計画、運営方針が明文化文章化されて全教職員に周知徹底されていることは組織体として高く評価できます。また計画の母体となる理事会や評議会も定期的開催され、必要な事案についてはグループ各委員会・学校学科会議などの会議研修で運営されていることも評価できます。

新入生は今までと違った環境で学校生活をおくるのは大変だが授業が楽しく充実しているから国家試験の合格率などの数字として反映されていると感じる。即戦力となるよう、現場の意見を取り入れた教育目標や実行計画にして頂きたい。国家試験については就職にも関わる為、現役合格はもちろん、不合格者のフォローもしっかりして頂きたい。

#### 4 学修成果

就職率は、学科ごとに目標を設定しており、「就職活動状況表」のデータで学生一人ひとりの状況を確認している。入学後から業界研究、就職講座として、職業理解を深めるために、業界から講師を招いて定期的に特別授業を開催。学内説明会も積極的に実施中。データはキャリアセンターが管理。採用活動の早期化により、就職活動の準備が前倒しになってきている。また、コロナ禍、デジタル化により採用試験内容も動画やオンラインと変化してきており、対応した支援が必須となっている。資格に対しては定期的に模擬試験を開催し低技術、低学力者に対して早い段階で補習授業を開講している。合格率については全国平均と比較している。学科により多種多様な資格取得を目指す、全員合格できていない現実がある。専門学校で「資格」は大きな意味合いを持つので、合格率向上に努める必要がある。

(委員のご意見)

就職率や資格・免許の取得率は、入学希望者を集める上で非常に重要な指標になると思われる。この数字を維持・向上させる為には、担当部署・担当教員だけではなく、学校全体での目的意識の共有とそれに向けた取り組みが必要になるので、今後も更なる組織体制の強化が望ましい。高い就職率は業界と理容美容の関心が高い状況に加え、卒業生の実績評価が高いからだ評価いたします。ただ専門学校に進学する学生のうち何割かは基礎学力や人間関係に問題を抱えている場合がありますから、授業や資格免許の取得への指導はますます難しくなる時代です。教職員の連携が大切ですので大いに期待いたします。

近い目標となる卒業生の活躍が見れる環境は刺激となり、目標になると感じる。目標達成の為に何が必要なのか学生に伝える事により、資格・免許の取得率が上がると感じた。目標が明確であれば、1日1日の従業の重要性を感じられると思う。

就職率も重要だが、その後の内定辞退や、離職率も重要になる。そこに向けての取り組みも力を入れて頂きたい。国家試験については、100%合格を目指して頂きたい。

学校運営としては、学習成果のグレードを上げていく事が最大の目標になると感じる。学生が、在学中に培う対人関係によって客観的に自分を見る機会が増える事を望みます。

## 5 学生支援

就職支援の指標として、就職内定率と合格率があるが、年々上昇してきている。

SNS からの採用エントリーや、動画での自己 PR など入学時からの指導が重要となってきた。中途退学率は昨年より増加してしまった。理由としてはメンタル面、友人関係、進路変更等。入学から半年のクラス作り、目的意識、モチベーション向上がとても重要である。定期的な担任面談の実施や、職員、講師との共有等、長欠になる前の対応が不可欠である。学生の各種相談に対応できる体制を整えている。学生の相談内容が広域になり対応の際に専門的知識を伴うケースが多いため、スクールカウンセラーや留学生担当の職員の配置など対応できるようにしている。学校として積極的に保護者とのかかわりに努めている。しかし学校について関心を持たない保護者に対してのアプローチをどのようにするかが大きな課題となっており、中途退学率にも影響している。

(委員のご意見)

就職内定率と合格率の上昇は高く評価できる。

一方で中途退学率を今後下げる為にも、現在のフォロー体制にプラスして、保護者との連携に関して具体的なアプローチ方法を見つけていくことは必要不可欠である。

高い就職率は業界と理容美容の関心が高い状況に加え、卒業生の実績評価が高いから評価いたします。ただ専門学校に進学する学生のうち何割かは基礎学力や人間関係に問題を抱えている場合がありますから、授業や資格免許の取得への指導はますます難しくなる時代です。教職員の連携が大切ですので大いに期待いたします。

不登校の学生が多い時代に、学生一人ひとりに丁寧な対応していて感心する。

入社してすぐに辞めてしまう人も居る為、学生時代から就職に対する動機づけ強化をして頂きたい。学生が相談できる場所がある事は良いと思う。学生、保護者が参加できるイベント行事があると良いと感じた。

就職の過去データがある事により、準備が出来試験本番で実力を発揮しやすい環境を作っている。スクールカウンセラーの認知を学生達にしてもらう工夫が必要だと感じた。

専門職の技術習得も大事だが、人としての成長が出来る事が大切だと感じる。

## 6 教育環境

実習授業に力を入れている本校にとって、学内実習室が実際の現場で使われている設備を揃えていることが、必要不可欠である。実践教育のための学内施設、設備は整備されていると考えている。各教室、実習室は、各種の申請に必要な条件を全てそろえた環境として、承諾を得ている。

安全管理においては防災、火災訓練を実施し、学生、教職員、講師へ非難手順や方法を指示し実施している。救急時における知識の習得と意識付けは出来ている。職員向けに消防訓練や防

水板設置の講習を行っている。AEDを各校舎に設置し使用方法の研修を職員間で行った。

(委員のご意見)

実習室の環境整備は非常に重要な点であるため、今後も時代と現実にマッチした実習室作りが必須だと感じた。

また、学外実習の必要性も共感できたため、受入側を含めた教育フローを構築に期待したい。時の批難と教職員および学生の人数確認の訓練は、今まで以上に必要な事だと思います。学外実習やインターシップでは業界団体での活動が中心だと思いますが、高等学校や通信制の学校の文化祭・通学時に学生が生徒や、その学校の教職員のかたにモデルとなって戴いて実習することを考えても良いのかも知れません。大きな反響があると思いますので期待します。

より、即戦力となる力がつく実習をお願いしたい。

教育環境はとても良いと感じる。

## 7 学生の募集と受け入れ

学生募集活動は、学則を基に、その年の入学案内、募集要項の通りに適正に行われていると考えている。入学選考の基準は明確に定められ、適正に入学選考が行われている。

入学者数の予測を踏まえ、財務を考えている。学納金については算定の内容を明確にしておりかつ毎年見直しを行い決定している。入学辞退者の授業料の扱いも文部科学省の通知趣旨に則って行っている。

(委員のご意見)

顧客となる高校生の志向に合わせて、学校の特色、地域の特性生かした情報発信およびアプローチができています。

今後も他校との差別化を図り、入学希望者の確保に繋げてほしい。誰もが羨む都内の一等地に設置されているにも関わらず、募集定員に達することができないことは大いに募集の形態を見直さなければなりません。私学ですから在学生の納付金が学校運営の基盤なのです。入学者の減少は屋台骨の税源の減少になるのだと自覚が必要かと思います。立地条件に満足することなく募集を展開することを期待します。

もっと多くの高校生に美容の仕事に興味を持ってもらえるよう、業界としても力を合わせ盛り上げていきたい。

## 8 財務

短期・中期・長期の収支計画を立て財務状況の健全維持に努めている。収支・キャッシュフローの状況についても適宜確認できるようになっている。学外に学校会計を担う株式会社があり財務面での処理については中立公正の立場で会計処理を実施しているので不正行為も未然に防げるようになっている。学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。今後ともどんな法改正にも迅速に対応していくと考えている。

(委員のご意見)

安定した財務基盤が、安定した学校運営につながっていると強く感じた。今後の法改正にも柔

軟かつスピーディに対応できる機動力は非常に優れた体制が整っている印象を受けた。財務関係については、東京滋慶学園を母体としていますので全体的にはまったく不安材料は見当たりません。同時に会計監査も厳格に行われ、合わせて公認会計士のチェックと報告が的確に行われていますので、これも高く評価できる材料です。

## 9 法令等の遵守

法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作り平成18年度で完全に整備させた。

また、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する教育または研修を、定期的実施している。個人情報取り扱いに関する情報整理やルール策定、職員の研修などを整備したことにより管理の透明性を図っている。

(委員のご意見)

適正かつ透明な法令等への取り組み体制が整っていると感じた。学校評価等を含む情報公開にしても、適切な手順・方法で実施をされており問題ないと感じた。

学校教育法や関係する法令を遵守して学校の運営がなされています。また自己評価や学校評価を公開して次の改善計画を行うなど前向きな姿勢を感じますので高く評価したいと思います。

## 10 社会貢献・地域貢献

学園で掲げる4つの信頼に「地域の信頼」がある。また、学校特徴して「原宿がキャンパス」と掲げている、そのため、原宿の地域貢献、地域発展には積極的な活動を行っている。今後は、さらに地域に根付いた社会貢献を行っていききたい。ボランティア活動は現状定期的な地域清掃のみとなっている。地域の施設等での活動も積極的に行っていききたい。

(委員のご意見)

「原宿」という立地と最大限に活かした学校運営に今後更なる期待をしている。地域貢献という面では、地域清掃などのボランティア活動はもちろんであるが、商業施設とのコラボレーションなどへの積極的な取り組みも必要だと感じた。地域が原宿なので社会貢献やボランティア活動が、学校周辺に偏りがちです。在校生の出身地が神奈川や千葉そして都内各所なら、各地のイベントや老人施設での活動を積極的に行うことを勧めます。そのことが学校のPRにも繋がるものと思います。地域清掃のボランティアは継続して頂きたい。年々原宿コラボレーションが多くなっていくと良い。地域の様々なイベントへの説教的な参加を継続頂きたい。